

霧ヶ峰におけるニホンジカの捕獲について

霧ヶ峰自然環境保全協議会

1 ニホンジカによる被害の拡大

霧ヶ峰においては、ニッコウキスゲをはじめとする高山植物のニホンジカによる被害が拡大し、極めて深刻な状況となっている。

2 防護柵、電気柵の設置

当協議会ではニホンジカから霧ヶ峰の植生を守る対策が協議され、八島ヶ原湿原やニッコウキスゲ群生地を囲う防護柵や電気柵の設置を協議会構成機関、団体のご協力により進めている。

3 ニホンジカの捕獲

霧ヶ峰におけるニホンジカの頭数が急増していると推測されており、防護柵等による守る対策とともに、ニホンジカの有害鳥獣捕獲（個体数調整）を推進することが急務である。

4 猟友会への協力依頼

当協議会から猟友会に対し、霧ヶ峰やその周辺地域におけるニホンジカの捕獲の推進について協力を依頼した。諏訪市猟友会には、茅野市猟友会や下諏訪町猟友会の参加も得て、霧ヶ峰周辺地域において銃による捕獲を重点的に実施していただいた。茅野市猟友会においても、捕獲の推進についてご検討いただいている。

5 わなによる捕獲

霧ヶ峰の周辺地域においては、農家がわなによる捕獲に取り組んでいる。また、前回の当協議会で説明があったように、「霧ヶ峰・植物害獣対策会」が設立され、霧ヶ峰においてわなによる捕獲を推進する計画である。

6 今後の取り組み

霧ヶ峰におけるニホンジカの有害鳥獣捕獲については、市町村農林関係課等の行政関係機関や猟友会等の関係団体と連携し、協力を得ながら、当協議会が中心となりニホンジカの捕獲対策を検討、調整してまいりたい。